

## 神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

＜項目＞

第6章 患者の視点に立った質の高い医療体制の整備

第8節 開かれた医療の取組み

とりまとめ担当課：ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室

### 1 課題に対するこれまでの取組実績

(1) 開かれた医療の取組み	<p>→ AICS（アミノインデックス・がんリスクスクリーニング）を普及するため、平成25年度から、県職員（地方職員共済組合員）及び県内教職員（公立学校共済組合員）向けの人間ドックにおいて、複数のがんの可能性を評価するAICSをオプションとして導入した。平成26年度からは、これらに加えて県職員向けの指定年齢健診において導入した。平成27年度には、国の地方創生交付金（地域消費喚起・生活支援型交付金）を活用し、県民が未病に関する商品やサービスを割引価格で購入できる事業（未病市場創出促進事業）の商品の一つとして採択した。</p> <p>→ 京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区や国家戦略特区の取組みを進めた。</p> <p>→ 保健医療福祉分野においてイノベーションを起こすことができる人材を養成するヘルスイノベーションスクール（神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科）の設置認可を国へ申請した。</p>
----------------	---

### 2 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県内					備考
				H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	

### 3 課題ごとの進捗状況の評価

#### (1) 開かれた医療の取組み

	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県職員（地方職員共済組合員）及び県内教職員（公立学校共済組合員）向けの人間ドック並びに県職員の指定年齢健診において、複数のがんの可能性を評価するAICSをオプションとして導入した。</li> <li>・ 開かれた医療の取組みを推進するため、特区を活用した取組みが進んだ。</li> <li>・ 保健医療福祉の分野においてイノベーションを起こすことができる人材を養成するヘルスイノベーションスクールを平成31年度に開設するため、国に設置認可申請を行った。</li> </ul>

評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連組織と調整し、AICS の導入を実現させた。</li> <li>・保険外併用療養や病床規制に関する規制緩和が認定・活用されるなど、着実に取組みが進んだ。</li> <li>・当初の予定通りヘルスイノベーションスクールを平成 29 年度末に国に設置認可申請をすることができた。</li> </ul> <p>以上のことから、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。</p>
第 7 次計画 (H30～H35) での取組の方向性	<p>P99</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルスイノベーションスクールの平成 31 年度に開設に向けた開設の準備と開設後の教育研究の実施。</li> </ul>

#### 4 総合評価

評価	評価理由
<b>B</b>	AICS の普及促進、各特区事業に必要な規制の緩和についての提案や、ヘルスイノベーションスクールの設置認可申請など、開かれた医療に係る取組みを着実に進めており、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。